

日本中・世界中の人々をつなげてきたhuman noteがご提案させていただく

芸術鑑賞会

ご提案資料

2022年10月

一般社団法人ウタのタネ

はじめに

human noteは、日本国内だけでなく、ケニア・インドネシア・ハイチ・カンボジア・ネパール・ニューヨークなど、海外でも活動をしてまいりました。また、地震や災害で被災された地域へ足を運び、心を寄り添わせて語り合ったり、ともに歌うことによって絆を育んでまいりました。

年齢・職業・環境・宗教・人種を超えたメンバーで構成されているhuman note。様々な場所に自ら足を運び、自らの目で見て、聞いて、経験してきたことを、これからの未来を担っていく子ども達に「歌」を通じて、お伝えできればと思っております。

human noteだからお伝えできるメッセージや音楽を、是非この機会にご検討いただきたく宜しくお願い申し上げます。

一般社団法人ウタのタネ
human note

代表 寺尾 仁志

0. 目次

1. human note プロフィール	・ ・ ・ ・ ・	P.4
2. 過去の実績について	・ ・ ・ ・ ・	P.5
3. ご提案テーマ I	・ ・ ・ ・ ・	P.6
4. ご提案テーマ II	・ ・ ・ ・ ・	P.7
5. 組織概要	・ ・ ・ ・ ・	P.8

1. human note プロフィール

2007年結成。シンガーソングライター寺尾仁志がリーダーを務める700名のシンガーズ。年齢、職業、環境を超えたメンバーで構成されている。

楽曲はリーダー寺尾仁志の書き下ろしをはじめ、中西圭三、広沢タダシ、平義隆、光永亮太などのアーティストから提供を受け 今までにシングル2枚 アルバム2枚をリリース。

2012年NYアポロシアターでの単独公演開催、2013年MBS音舞台出演。

2009年11月には初の海外活動となるケニアへ訪問する。その後、インドネシアバリ島・ハイチ・NY・カンボジア・ネパールなど様々な国へ訪問する。また、学校、病院訪問活動の他、宮城県南三陸町を中心とした東日本支援活動や熊本地震支援活動、パラアスリートを応援する「プロジェクトビギニング」にも力を入れている。

ひとりひとりに物語があり、ひとりひとりにメロディがある。笑いたい人にも、泣きたい人にも、感動を届けるために、世界中にウタのタネをまいている。

human note 公式HP <http://www.human-note.com/>



2. 過去の実績について

2008年、大阪府教育委員会が実施している「こころの再生」府民運動のイメージソング『みんなトモダチ』をhuman noteリーダーの寺尾仁志が作詞作曲しました。歌詞は子ども達から公募した言葉をもとに作成し、CDが大阪府内の幼小中高校に配布されています。

その後2009年より大阪府内の幼稚園・小中学校・支援学校などを訪問し、心のつながりを伝えるべく、『みんなトモダチ』や合唱の定番曲『Believe』などの曲を、子ども達と一緒に歌う、**参加型のコンサート**を行なってきました。その数は2022年9月までで、のべ約300校になります。



■ 主な学校

- 四天王寺学園 中学校・高等学校
 - 帝塚山学院 泉ヶ丘中学校・高等学校
 - 岸和田市立春木小学校
 - 八尾市立桂小学校
 - 泉南市立あおぞら幼稚園
- 他多数

■ 主なご依頼内容

- 芸術鑑賞会
 - PTA人権講演会
 - 防災教育
 - 文化祭
 - 閉校式典
- など

3. ご提案テーマ I

内容につきましては、大きく以下の4つのテーマでご提案させていただきます。

1 芸術鑑賞会

ゴスペルをベースにしたクワイア（聖歌隊）スタイルで、人間の声の力強さや、生演奏による音楽の楽しさを感じていただきます。児童・生徒様にも一緒に歌っていただいたり、手拍子をしながら、音楽の素晴らしさを感じていただく内容です。

2 人権教育

年間授業の発表会やPTA様主催の行事でご要望の多い『人権教育』をテーマとした、講演&コンサートです。human noteが考える「幸せのカタチ」である『夢を持つこと』『人と人との繋がり』『成長できる環境』を主軸に、歌を通じ、人を思いやることの大切さを感じていただく内容です。

3 被災地支援活動

被災地支援をテーマとした、講演&コンサートです。

日本中の様々な地域で起こった震災・災害により、多くの町が被害を受け、多くの方が傷つきました。human noteは、直接現地に赴き被災された方からお話を伺い、現地の方と共に歌うことで『人と人が繋がることの喜びを感じられるお手伝い』を行なっています。「自分にできることは何か」を考えていただく内容です。

4 国際理解（海外活動について）

ケニアでの活動をテーマとした、講演&コンサートです。

2009年にケニアの学校を訪問し、それ以来定期的にケニアを訪問してきました。日本の子ども達がつづてくれたカバンをケニアの子ども達にプレゼントをしたり、インターネット中継で繋いだりし、交流を図ってきました。電気・ガス・水道がないところで暮らす子ども達の様子を映像を交えながらお伝えします。

「当たり前とは」「幸せとは」「知ることとは」を考えていただく内容です。

4. ご提案テーマⅡ

《Bag Present Project》

human noteは2009年よりアフリカ・ケニアを訪問し、様々な場所で現地の方々と歌で交流を図ってまいりました。その中で子供達がボロボロのビニール袋に教科書を入れ学校に通う姿を目にします。以来、日本の子供達に作ってもらったカバンをケニアの子供達にプレゼントをし、その様子を映像に収め学校側にお渡しする、ということを継続して行ってまいりました。

今の子供達はインターネットやSNSの発達により、様々な情報をいつでも得ることができます。その一方、情報過多となり、現実世界で起きていることを実感しにくくなっているのも事実です。

ケニアの地方には、ガスや電気・水道がない家に住む子供達がまだまだたくさんいます。しかしながら物はなくても、子供達はいつも笑顔で不幸ではありません。コンサート当日だけではなく、このカバンのプレゼントを通じ「当たり前とは」「幸せとは」「知ることは」「自分達にできる社会貢献」を考えていただける機会になっています。

※以下の写真ではトート型のカバンですが、現在ではリュック型のカバンの方が需要が高くなっています。

※2022年時点でのケニアへの渡航は行っておりません。実施される場合は、ケニアまでの配送費のご負担・配送をお願いしております。

※詳しくはお打ち合わせの際にご相談くださいませ。



ケニアでの贈呈式の様子



ケニアでの贈呈式の様子



日本での贈呈式の様子

5. 組織概要

社名	一般社団法人 ウタのタネ
設立	2011年6月23日
代表理事	寺尾 仁志 (てらお ひとし)
目的	歌を届けることで人々を元気づけ、また届ける方も同時に届けた人々から力を与えられることで、年齢・職業・人種・性別・宗教などを超えて人と人が繋がり、心が通じ合う感動を体感してもらい、またこうした歌の力を広めていくために、学校や病院等の施設をはじめ、日本国内だけでなく世界の各地に「ウタのタネ」をまいていく事業を通して歌のある生活で世界中の人々が輝ける社会の実現に寄与することを目的とする。
事業	<ul style="list-style-type: none"> (1) 歌を通じた海外との国際交流及び国際支援活動 (2) 学校、病院、福祉施設等への訪問コンサートの開催 (3) 被災地 四都市コンサートの開催 (4) チャリティーコンサート等の開催 (5) 歌を通じた地域活性化イベント等の開催 (6) チャリティー音楽アルバム等の制作及び販売 (7) 音楽関連グッズの制作及び販売 (8) 前各号のほか、歌の魅力を伝えて人と人をつなげることに関する事業 (9) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
所在地	〒540-0033 大阪府中央区石町2-5-8 日宝中之島ビル303
連絡先	TEL 06-6949-8334 / Mail utanotane@kjb.biglobe.ne.jp